

# 北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2010年9月14日 第44号  
 Tel 592-5000 fax 571-4346  
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F  
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

## 第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

## 憲法ネット第7回総会が8月28日に開催!

## 年に一度は、市内9条の会全部が参加する行事をしよう!の提案

9条の会・北九州憲法ネット第7回総会が8月28日、市立生涯学習総合センターで開催されました。30名の参加でした。司会は、憲法ネット事務局次長の後藤景子弁護士が行い、冒頭、主催者挨拶がおこなわれました。主催者の荒牧啓一座長は、憲法をめぐる情勢を語り、「明文改憲の動きは先の衆議院選挙の結果で後退しているが、解釈改憲の動きは着実に進行してきている。本日新聞報道されている『安保持衛懇報告書』では、集団的自衛権行使を促し、憲法の規制をはずそうとしている。」と警戒を呼びかけました。また、国会議員の定数削減の反対運動の強化も呼びかけ、「くさらず、あせらず、おこたらず」に憲法運動を強化することの大切さを訴えました。

憲法ネットの一年間の運動総括、財政報告、運動方針、新年度役員を選出を三輪俊和副座長が提案し、それぞれ了承、決定しました。

続いて、憲法運動の交流会が行われました。三輪副座長が司会をするパネル討議形式でしたが、冒頭、「9条の会・福岡県連絡会」の村井正昭弁護士から県下の憲法運動の現状と問題点についての報告が行われました。この中で村井氏は「今の政治情勢の下では、明文改憲も油断できない。憲法審査会で、改憲の案が出れば、3分の2の議員の賛成は可能の状況は続く」と警戒を呼びかけました。

各地の9条の会のパネラー交流発言では、ま

ず、「キリスト者9条の会」の長谷川基子さん、高瀬紀子さん、川辺希和子さん3人の会員によ



コントを演じるキリスト者9条の会の皆さん

る「憲法9条コント」が披露され、会場の大きな拍手を受けました。これは、この会が独自に作ったもので、今後も、会合で演じられるそうです。「市内の憲法団体が全体で参加する行事を憲法ネットで作ってほしい」との提起もされました。

「憲法9条を守る八幡東区の会」の島崎義廣さんは「2006年に200人の賛同署名を受けて、発足。毎月の事務局会議、3ヶ月ごとの合同会議、同じくニュース配布(現在までに22号発行、290所帯へ手配り、50通は郵送)をしている」また、「街頭署名活動で集めた署名は、請願署名であるため、2008年に国会に提出に行った。うたごえ喫茶やDVD上映などの行事もやっている。課題は青年を引き入れること」と語りました。



シンポ形式での各9条の会活動の交流

「わかまつ九条の会」の小野逸郎さんは、「2004年の中央の九条の会発足を受け、11月3日にわかまつ九条の会が発足した。9の日宣伝は87回になる。ニュースカー宣伝も行っている。6~9人が参加。宣伝では、人が少ないと受け取る人も少ない。」と語りました。

「憲法9条を守る折尾の会」の田代順二さん

は「昨年第5回総会をした。新聞に案内記事を出したら、門司や中間からも参加者があった。月に2回の宣伝行動。その内1回は、1000枚を地域の全戸配布をしている。年1回の総会には、記念講演（今年は11月に予定）。これまでに4859筆の署名を集めた。問題点として、ニュースの原稿づくりが苦しい。運動のマナー化、署名行動への参加者少ないなど。」と発言しました。

第3部は、DVDの上映を行いました6月に。行われた「井上ひさしさんの志を受けつぐ九条の会講演会」の中の、澤地久枝さんの講演の部分37分の上映です。澤地さんの気迫の憲法9条運動への思いが伝わり、感動を受けました。

最後に、荒牧座長の閉会の挨拶で、今回の総会行事を終わりました。

## 歴史を通して未来を考える大事さを学びました 7月24日「山田朗平和と憲法講演会」

7月24日、ウエルとばた多目的ホールで9条の会・北九州憲法ネットと憲法改悪反対北九州共同センターの共催で「近現代の歴史から東アジアの平和を考える」と題した「山田朗・平和と憲法講演会」が開催され、74名の参加でした。山田朗講師は、参議院選挙後の情勢の変化を、自らの勤務先明治大学のそばの靖国神社の参拝者の状況から話し始めました。参加者のアンケートが27枚回収され、いずれも、高い評価を与えてくれています。今までの憲法講演会にない切り口で、歴史の流れからみる、日本の平和の意味・流れを判りやすい口調で話していただきました。参加者の感想・意見欄に記入されていたいくつかの声を紹介します。

\*歴史的な基盤に乗せられた話で、判り易かった。現在の軍の存在自体が、その続きであることもよく判った。【70代男】\*日露~太平洋戦争に続く日本と欧米の考え方に共通点があることを知った。【40代男】\*学校で知ることのできない近現代史を勉強できてよかった。【50代男】\*「目には目を」という発想で、攻められたら攻め返すという考えは、人間の発想ではない。しかし、どうしたらよいか判らないのも現状です。生命の進化というのは、羽が生えることや、水の中でも生き

られるようになるというような事ばかりでは無い。心がどう変わるか、それが問題ですね。【30代男】

\*どこの国、誰からの情報で判断しているのか？現在はアメリカ側からの情報が大量に出されているので、アメリカに反対する国はテロ国家と言われる。情報の取り方で判断が違って来る。自衛隊に引き継がれている、旧軍隊の伝統が、「船の名前から判る」、等よく判った。【50代男】\*日露戦争から全体的な視点で、日本の歴史をみる

ことができた。世界の中で、戦争をすること、何らかの理由があるということ、本当のその通りであると思った。【20代男】\*日露戦争は、イギリスの代理戦争…びっくりした。【80代男】\*戦争を知らない世代だからこそ、未来にむけて平和憲法9条と25条をあらためて大切にしなければと思った。戦争を美化し、戦争をしようとする人々に対し、平和の大切さを伝え、平和運動を強めねばと思いました。ありがとうございました。【30代男】\*今日は大変有益なお話、本当にありがとうございました。私は「ガンジーの会」で、①外国に出ている自衛隊は日本に帰れ②憲法9条を守れ、を旗印に24時間ハンストを実施しています。護憲運動について……。選挙の投票率、20代、30代は20～30%で、無関心?9条の会の皆さん、頑張っておられますが、若い人が少ないようです。若い人を護憲運動に取り組みることが一番の急務ではないでしょうか。【86歳男】\*大変素晴らしいお話で、今後の生き方に力を与えられました。過去の戦争の悲惨さだけでなく、歴史を識ることで考えることの大切さを知りました。ありがとうございました。今、教科書問題も大変です。【70代女】\*偏った情報で引き起こされる戦争と、その結果の真実を知り驚きました。正確な情報をつかみ、正しい判断が出来るよう学習を深めたいと思いました。質疑応答も含めて、大変勉強になる講演会でした。【60代男】\*歴史を通して、現在、未来を考えることが大事だと感じました。広い視野で情勢を見なければ、与えられる

だけの情報では、日本や世界の本当の姿はつかめないなと思いました。また、情勢をみる上で、現在の状況しか見ていないけれど、歴史を見つめながら考える必要があると思いました。【20代女】\*素晴らしい講演ありがとうございました！【40代女】\*むずかしいテーマを判り易く話していただき、雑な知識をセイリして頂いた気がしてありがとうございました。【60代女】\*日ごろから、切断的な記事やテレビメディアの極端な物言いに歯がゆい思いをしてきましたが、日露戦争の記事には意図的な英国の思惑があることを知り、私たちはもっともっと事の裏を考える必要があることを感じました。外国の脅威のもと、日本の憲法を変える必要があるように仕向けられているように思われます。平和が続いている日本の現状をさらに深めていかなければなりません。【60代女】\*歴史認識について・・・勉強不足もあり、講演内容が新鮮でした。“参院選挙後、靖国神社参拝者が多くなった”の話で、平和に対する国民の動向がこんなところでも現れるのか?と、平和の守り手として、今後も地道に進み、闘っていかないといけないとあらためて思う。【60代女】\*日露戦争はある程度知っているつもりでしたが、今日の講演で、目からうろこでした。今の若い人たちが太平洋戦争も知らなくなっているという事が、何か判るような気がします。大変勉強になりました。ありがとうございました。【性別年齢不詳】

## ==憲法講演会のご案内==



植木淳北九州市立大学法学部准教授

10月2日(土) 10時30分～12時30分

会場ウエルとばた8階83会議室

「平和を考える～安保・基地・核と私たち」

講師：植木淳氏（北九州市立大学法学部准教授）

申し込み・・・エフコープ組織・広報部へファックスで。（9月24日締切）  
エフコープの構成員優先。電話で「憲法ネットニュースでみた」と。

TEL：092-947-9003 Fax：092-947-9192

# 戦争展での「青年企画」を9月19日に行います

9月18日～20日の3日間「平和のための戦争展」が門司港地区で行われます。19日の午後の企画から「青年から見た日本の戦争史」との題材で発表を行います。これまで、日本が行ってきた戦争について振り返り、今日本がどのような道を歩いて行くのかなど分かり易く、さまざまな視点から発表することができればと思います。

開国から第二次世界大戦まで約1世紀もの間に、日本は急速な発展を遂げ、多くの戦争を行い、目を覆いたくなるような侵略を行ってきました。日本がなぜ戦争を行ってきたのか、こういった背景があったのかとすることを考え、今後戦争を行わないようにするためには何をしなければならぬのかとすることを考えていくことができればと思います。

戦争を風化させないように、将来同じ過ちを犯さないように考えていくことが大切なのではないでしょうか。世界で唯一核兵器の被爆国

であり、戦争をしないという憲法を持つ日本が世界平和を先頭に立って訴えることができる歴史を私たちが持っていることを常に考えていかなければならないと思います。

事務局 三浦純一



## カンパ有難うございます。そして、お願い。

「9条の会・北九州憲法ネット」は会費をとらず、皆さんからのカンパのみで運営しています。毎月一回「北九州憲法ニュース」を発行し、また時々の憲法講演会の案内チラシを作成していますが、ニュース、チラシ等の印刷費や郵送料の捻出に四苦八苦しています。皆様からのカンパを是非お願い致します。カンパにご協力いただける方は下記の郵便振替口座までお願い致します。振替番号：01700-8-115768 名義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ6月 山下伸子 7月 河村智重子 三輪俊和 三輪幸子 小泉孝 村上憲子 藤本修子 門司法務事務所前野宗俊 藤井利秋 日下部恭久 松永奉義 山田成人 上西創造 勝野禎二 おりお総合法律事務所尾崎英弥 半晴武二郎 古賀三千人 増野ノリ子 永富雅生 木村昌稔 本田実 江島康弘 勝木多美 小沢和秋 桑田勲二 末次美智 大庭勝紘 谷原勝義 森裕文 秀南ひとみ 安藤昭雄 戸畑区川原 新地美智子 8月 八記久美子 小川由美 宗田嘉昭 高木巳安子 丹下徹 野瀬秀洋 佐多道人 森田禮三 渡辺末子 高瀬菜穂子 今井輝昭 島崎義廣 キリスト者・9条の会 石松富貴子

メッセージ ●時々しか出来なくて、それも僅かですみません。7/6 M.N ●いつもありがとうございます。強制的にいくら /月と言われた方がいいのですが・・・7/8 F.S ●少額ですが足しにしてください。健闘を祈ります。7/8 F.T ●わずかですが、活動資金としてカンパいたします。7/8 M.T ●カンパ 7/9 K.T ●ニュースの堀田住職のお話、共感するとともに、感動しました。わが家も浄土真宗です。平和日本、戦争をしない国日本のため、お互いがんばりましょう！7/9 H.T ●カンパを求められる所が多々あるために僅少になりますが、ご寛容を許してください。九条の会育成のため、ご努力しておられることに敬意をいただいています。7/9 K.M ●¥3000 入金いたします。7/13 H.M ●選挙にとりまぎれて、送金がおくれました。すみません。7/14 O.K ●カンパとして7/15 S.M ●毎日の仕事、御苦労様です。少しでも郵送料に利用して下さい。7/15 O.K